

# 俱知安町営プール建替基本構想

令和4年（2022年）10月

俱知安町教育委員会

# 目次

<b>第1章 基本構想の策定について</b> .....	<b>1</b>
1 背景と目的.....	1
2 旧町営プールについて.....	1
<b>第2章 町営プールを取り巻く現況と課題</b> .....	<b>5</b>
1 俱知安町の現況.....	5
2 町営プールを取り巻く課題.....	21
<b>第3章 建替に関する基本的な考え方</b> .....	<b>22</b>
1 基本方針.....	22
2 新町営プールに求められる機能.....	23
3 建設候補地の考え方.....	24
4 施設規模の想定.....	27
5 整備のイメージ.....	28
<b>第4章 建替事業の実現化方策</b> .....	<b>30</b>
1 環境負荷低減のための方策検討.....	30
2 事業方式の検討.....	30
3 財源計画.....	32
4 整備スケジュールの想定.....	32
<b>第5章 その他参考資料</b> .....	<b>33</b>
1 検討の経過.....	33

## 第1章 基本構想の策定について

### 1 背景と目的

町営プール<sup>※1</sup>は、町民の心身の健全なる発達と体育の普及振興を目的とし、年代を問わず幅広く町民に利用されていた施設であるが、竣工から40年程度経過しており、躯体、設備ともに著しく劣化している状況にある。令和2年（2020年）7月には腐敗した天井鉄骨の一部が落下するなど危険な状態にあることから、同年建物診断調査を実施したところ、施設全体の耐震性不足も明らかになり、安全面を考慮し令和3年度（2021年度）からの利用を休止している。

また、倶知安小学校の学校プールについても、積雪の影響で屋根部品が破損し、継続使用のためには大規模修繕が必要な状況にあることから、今後、早期に施設の更新を行うことが求められている。

このような状況をふまえ、町営プール及び学校プール機能を集約した新町営プールの建替に関する基本的な考え方を示す、「倶知安町営プール建替基本構想」（以下、「本構想」とする。）の策定を行うことを目的とする。

### 2 旧町営プールについて

#### （1）休止に至るまでの経緯

旧町営プールは昭和56年（1981年）に開業し、竣工後40年が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。施設が休止に至るまでの経緯は、以下のとおりである。

#### 旧町営プールのこれまでの状況

- ・令和2年（2020年）7月、天井鉄骨の一部がプール槽内に落下。
- ・危険箇所を除去したうえで営業を再開し、夏期営業終了後に建物診断調査を実施。
- ・令和3年（2021年）5月、診断調査により落下箇所を含む天井部品の劣化のみならず、施設全体の耐震性が不足していることが判明した。安全確保の観点から令和3年（2021年）より休館とした。
- ・同年、倶知安小学校プールも老朽化及び落雪の影響で屋根が破損し使用を休止した。

※1 以降、既存の町営プールを「旧町営プール」、建替後の町営プールを「新町営プール」とする。

## (2) 施設の概要

旧町営プールの施設概要は以下のとおりである。

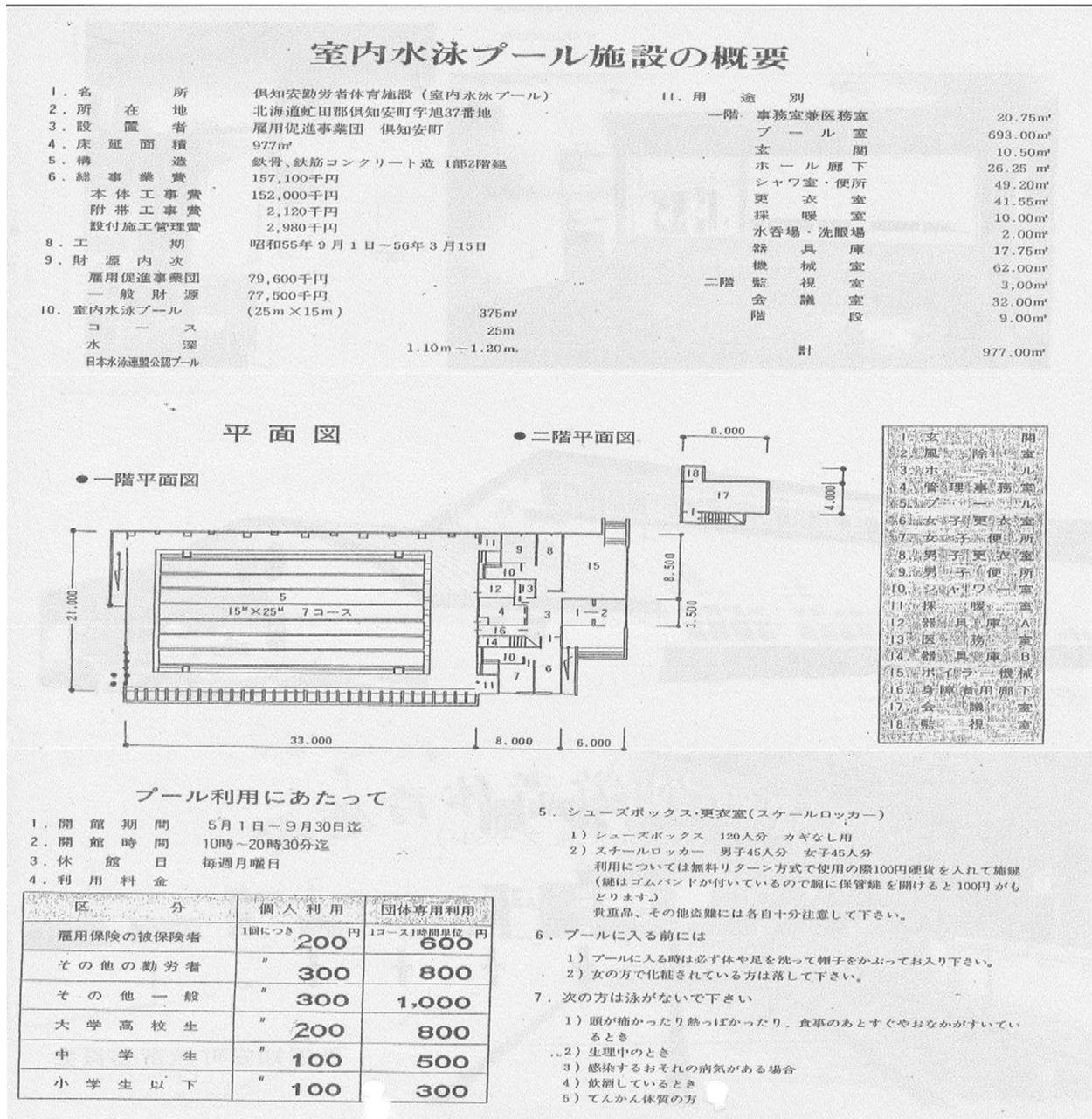


図 1-1 旧町営プールの概要（施設稼働時点の資料）



図 1-2 施設外観



図 1-3 事務室



図 1-4 屋外駐車場



図 1-5 プール層 (その1)



図 1-6 プール層 (その2)

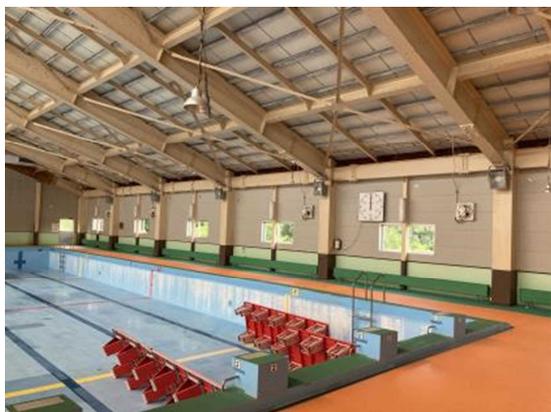


図 1-7 プール層 (その3)



図 1-8 観覧室 (その1)



図 1-9 観覧室 (その2)



図 1-10 採暖室



図 1-11 男子トイレ



図 1-12 女子トイレ



図 1-13 シャワー室



図 1-14 更衣室

## 第2章 町営プールを取り巻く現況と課題

### 1 倶知安町の現況

#### (1) 気候

倶知安町の気候は日本海側気候に分類され、春から夏にかけては温暖な日が多くなるが、冬は北西からの季節風の影響を受けて年間1,000 mm以上の降水量がある。

年間の最深積雪が200 cmを超えることもある日本でも有数の豪雪地帯であり、「特別豪雪地帯」に指定されている。

表 2-1 倶知安町の気候

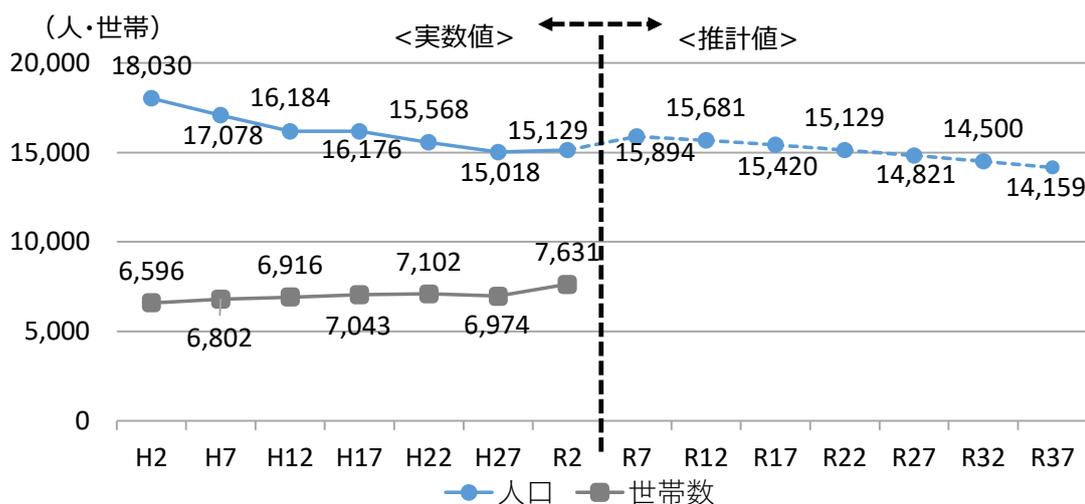
	気温℃			降水量 mm	最深積雪 cm	平均湿度 %	最大風速 m/s	日照率 %
	平均	最高	最低					
2018年	7.4	32.5	-8.6	1,889	222	81	25.8	30.8
2019年	7.7	32.5	-11.8	1,039	202	79	15.1	35.6
2020年	7.9	32.4	-8.6	1,479	119	82	17.7	31.5
(2020) 1月	-4.5	3.5	-6.1	95.5	83	83	11.9	24
2月	-4	8.7	-7.1	90	95	79	15.9	25
3月	1.2	12.5	1.1	113.5	86	77	13.4	39
4月	4.4	17.8	4.5	84	8	75	13.7	44
5月	11.6	25.3	9.3	86	0	76	11.4	43
6月	16.5	27.1	15.9	85.5	0	82	11.6	26
7月	19.7	29.1	19.7	68.5	0	85	9.8	44
8月	21.4	32.4	19.6	132.5	0	87	17.7	37
9月	18.3	32	17.1	92	0	86	11.8	32
10月	10.3	21.6	8.3	140.5	0	83	11.8	38
11月	4.2	17.2	1.2	228	44	82	11.2	19
12月	-4	5.6	-8.6	263	119	85	11.4	7

出典：気象庁

## (2) 人口・世帯数

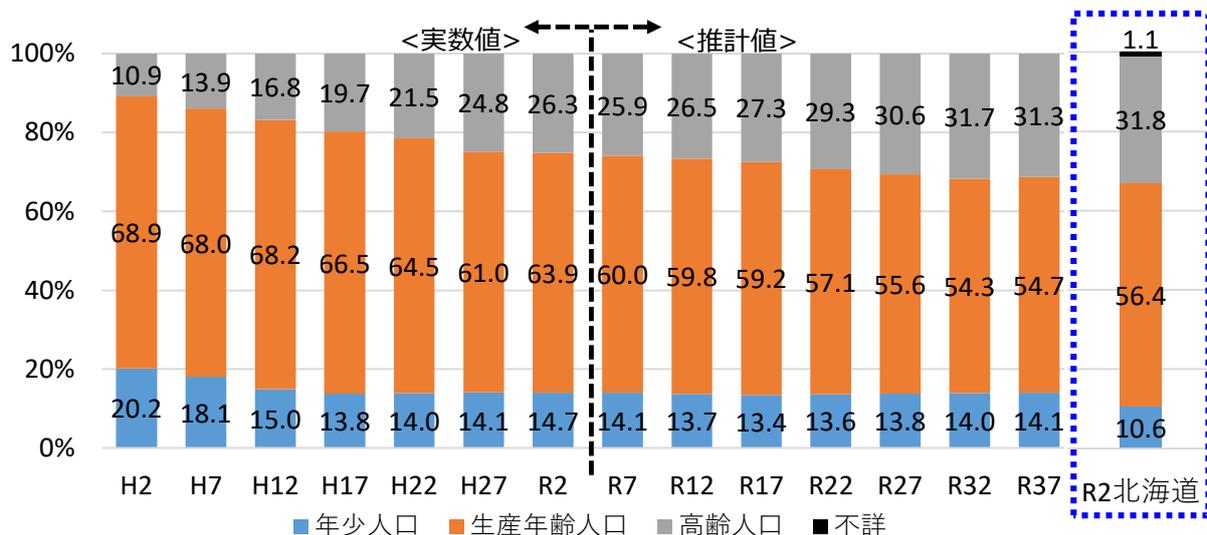
倶知安町の人口は平成 27 年（2015 年）まで減少が続き、令和 2 年（2020 年）にはわずかに増加している。倶知安町人口ビジョンにおいては、今後リゾートエリアの開発や令和 12 年（2030 年）の北海道新幹線開業等を控えて横ばいとなることが予測されている。また、世帯数は平成 2 年から増加を続けている。

年齢区分別では、令和 2 年度（2020 年度）の北海道内平均と比べた場合、年少人口及び生産年齢人口の比率が高い特徴がある。しかしながら、将来的には高齢化が進み、生産年齢人口が減少することが見込まれている。



出典：国勢調査（H2～R2）、倶知安町人口ビジョン（R7～）

図 2-1 人口・世帯数の推移

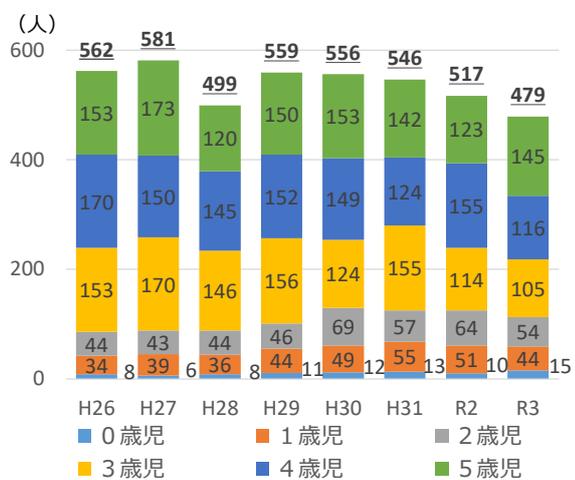


出典：国勢調査（H2～R2）、倶知安町人口ビジョン（R7～）

図 2-2 年齢 3 区分別人口比率の推移（倶知安町、北海道）

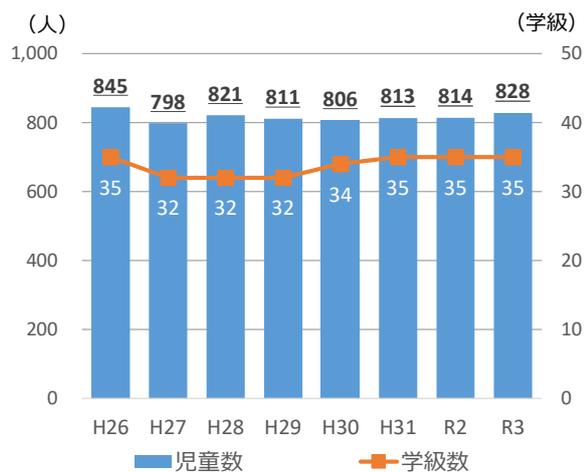
保育施設、教育施設の入所児童数は、増減はあるものの、平成 27 年（2015 年）をピークに緩やかな減少傾向にある。

小学校の児童数、中学校の生徒数は、ともに横ばいになっており、学級数も同様の状況である。



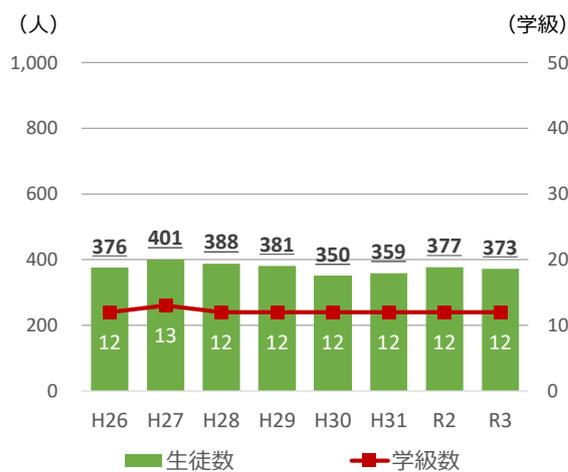
出典：俱知安町資料

図 2-3 保育所・認定こども園における入所児童数の推移



出典：俱知安町資料

図 2-4 小学校学級数・児童数の推移



出典：俱知安町資料

図 2-5 中学校学級数・生徒数の推移

### (3) 旧町営プールの利用状況

旧町営プールは、個人利用・団体専用（サークル・少年団）利用に分かれており、また一部の学校授業や、水泳協会が主催する教室や大会等で利用されていた。過去5年間の利用者数について、令和元年（2019年）までは概ね1万人程度で推移している。なお、令和2年（2020年）は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年の半分程度となっている。

また、利用者区分の内訳について、令和元年（2019年）の状況をみると、団体利用者が個人利用者と比較して多くなっている。個人利用者、団体利用者とも7月、8月の利用者数が他の月と比較して多くなっており、同様の状況がみられる。

表 2-2 過去5年間の利用者数の推移

区 分	平成28年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
利用者数（人）					
個人	2,724	2,334	2,268	2,379	2,071
団体（ライラック、俱知安SC、山田スイミング、米坂スイミング、あや）	4,781	4,371	4,257	4,517	2,911
学校（授業、部活動等）	2,562	2,359	2,041	2,096	0
その他（水泳協会主催教室、大会等）	1,052	1,069	918	684	0
計	<b>11,119</b>	<b>10,133</b>	<b>9,484</b>	<b>9,676</b>	<b>4,982</b>
開館実績					
年間開館日数（日）	111	103	110	102	92
開館時間	10：00～20：30 ※土日祝は10：00～18：00				

出典：俱知安町資料

※「その他」の利用者数は、水泳協会実施の小学1、2年生向け水泳教室を含む。

※表中の数字は、延べ人数を示す。

表 2-3 個人利用者と団体利用者の内訳（令和元年）

	個人利用者（人）			団体利用者（人）					計
	中学生以下	高校生一般	小計	教室サークル	少年団	学校授業	その他	小計	
6月	243	185	<b>428</b>	851	232	258	313	<b>1,654</b>	<b>2,082</b>
7月	484	300	<b>784</b>	1,094	251	1,032	102	<b>2,479</b>	<b>3,263</b>
8月	515	379	<b>894</b>	957	195	655	127	<b>1,934</b>	<b>2,828</b>
9月	121	152	<b>273</b>	777	160	151	142	<b>1,230</b>	<b>1,503</b>
計	1,363	1,016	<b>2,379</b>	3,679	838	2,096	684	<b>7,297</b>	<b>9,676</b>

出典：俱知安町資料

※「その他」の利用者数は、水泳協会実施の小学1、2年生向け水泳教室を含まない。

※表中の数字は、延べ人数を示す。

水泳教室等の利用者数の推移について、こどもを対象としたものは横ばいの傾向だが、幼児を含む親子と大人を対象にしたものは減少傾向となっている。また、水泳協会で実施している水泳教室について、大人向けは平成30年度（2018年度）、小学校1、2年生向けは令和2年度（2020年度）より指導者確保が難しいことから中止となっている。

表 2-4 水泳教室等の利用者数の推移

水泳教室等の利用者数(人)	主催区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
こども	民間	2,522	2,228	2,509	2,881	2,286
	水泳協会	706	734	323	315	0
大人	民間	986	914	870	847	615
	水泳協会	55	34	0	0	0
親子	-	1,470	1,228	895	784	0
<b>計</b>		<b>5,739</b>	<b>5,138</b>	<b>4,597</b>	<b>4,827</b>	<b>2,901</b>

※集計区分は以下のとおり。

【こども】 倶知安スイミング、米坂スイミング、あやスイミング、水泳教室（水泳協会実施）

【親子】 ※幼児対象を含む 山田スイミング

【大人】 ライラックススイミング、おとな水泳教室（水泳協会実施）

出典：倶知安町資料

表 2-5 小学1・2年生水泳教室（水泳協会実施）の参加状況（参考\_実人数）

水泳教室等の利用者数(人)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
倶知安水泳協会 小学1・2年生水泳教室	118	119	105	105	0

出典：倶知安町資料

#### (4) 上位関連計画における関連内容

俱知安町の上位関連計画から、町営プールの整備に関連する内容を以下のとおり整理した。

##### ①第6次俱知安町総合計画

◆老朽化する公共施設については、俱知安町公共施設等総合管理計画に基づいて、適正に維持、管理、修復を実施して長寿命化を図るとともに、町有財産の適正な管理に努めていきます。

##### ②俱知安町公共施設等総合管理計画

◆利用実態や町民ニーズを勘案し、各公共施設等において確保すべきサービス水準・機能の検討、施設等の集約や複合化などの多様な手法の検討、民間のノウハウの活用によるサービスの質の向上、まちづくりの方向性をふまえた地域内での適正な施設配置など、総量削減の方向性の中でサービス水準の維持・向上に向けた取り組みを推進します。

また、施設等の安全性確保に加え、ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化、適切な温熱環境の確保、環境配慮など快適な施設環境の確保に努めます。

◆新たに整備する施設については、施設の機能を満たす視点に転換し、近隣施設の利用状況等を考慮し、周辺施設の機能集約や周辺施設への統合など、施設の複合化についての検討を行います。

◆スポーツ・レクリエーション系施設は、現状の機能を維持しながら、施設の利用度やニーズをふまえ、計画的な継続管理や改修・修繕等を検討します。特に、老朽化が進んでいる町営プールについては、学校での利用もあるため、改修・修繕などの対応について早期に検討を行います。

##### ③俱知安町教育大綱、俱知安町社会教育中期行政計画

◆関係機関や各スポーツ団体と連携を図り、様々なスポーツを体験できる環境の整備とスポーツ全般における底辺の拡大に努めます。

##### ④俱知安町環境基本計画

◆役場や公共施設における省エネルギーの一層の推進

##### ⑤俱知安町地域再生可能エネルギー導入ビジョン

◆公共施設でのRDF（廃棄物固形燃料）と木質バイオマス（ペレット等）の利用推進

### (5) 後志管内の供給状況

後志管内における公営の屋内プールは12施設であり、6コースの施設が最も多く、次いで7コースの施設が多くなっている。なお、管内の公認プールは、倶知安町営プールのみである。

表 2-6 後志管内の屋内プールの配置状況

	市町村名	施設名	施設概要		その他
			コース数	運営方式	
1	寿都町	寿都町民プール	25m×6	指定管理	・室内温水プール、幼児用、児童用プールあり ・総合体育館内にあり、隣接して寿都町総合文化センター
2	黒松内町	町民プール	25m×6	直営	黒松内町運動公園内に野球場、テニスコート、パークゴルフ場、多目的広場などと併設
3	蘭越町	蘭越町民プール	25m×6	直営	蘭越町総合運動公園内に併設
4	京極町	温水プール	25m×5	直営	室内温水プール
5	倶知安町	倶知安町営プール	25m×7	直営	室内温水プール、連盟公認
6	共和町	共和町中央プール	25m×6	直営	一般用・低学年・幼児用有り
7	岩内町	岩内町民プール	25m×7	指定管理	・室内温水 ・子供用、幼児用プールあり
8	積丹町	積丹町B&G海洋センター	25m×6	直営	幼児用プール、体育館、トレーニングルームあり
9	古平町	古平町B&G海洋センター	25m×6	指定管理	観客席なし、温水
10	余市町	余市町温水プール	25m×7	指定管理	室内温水プール
11	赤井川村	赤井川村営都プール	25m×5	直営	・室内温水プール ・都公園、パークゴルフ場、サッカー場、赤井川村立都小学校に隣接
12	小樽市	高島小学校温水プール	25m×6	直営	室内温水プール

## (6) 利用者アンケート調査

### ① 調査概要

#### ア 調査目的

旧町営プールの建替に向け、利用者の利用実態を把握し、本構想策定にあたっての基礎資料とするため。

#### イ 調査対象

代替施設利用券購入者およびサークル利用者（398人）

（男女比およそ3：7、10～20代：約5%、30～50代：約80%、60代～：約10%）

#### ウ 調査期間

令和3年（2021年）11月29日（月）～12月17日（金）

#### エ 調査方法

- ・代替施設利用券購入者：郵送配布、郵送回収
- ・サークル利用者：サークルの代表者からの手渡し、または郵送配布、郵送回収

#### オ 調査内容

- ・個人属性
- ・旧町営プールの利用状況

#### カ 回収状況

- ・調査票回収数：197票
- ・回収率：49.4%

### ② 調査結果の概要

旧町営プールに関する主要な調査結果は以下のとおりである。

表2-7 利用者アンケート調査結果概要

調査内容	旧町営プールに関する回答の概要
利用頻度	月や年単位の利用が約4割と定期的な利用が多い
利用する曜日	週末の利用が約5割
利用区分	回答者：個人の利用が約4割、サークル、スイミングクラブの利用が約2割 子ども：個人の利用が約3割、サークル、スイミングクラブ、学校授業が約2割ずつ
良かった点	建物状況：立地条件、アクセスが約4割、駐車場の広さが約2割 サービス状況：利用料金が約5割
悪かった点	建物状況：施設の古さが約6割、衛生面が約4割 サービス状況：利用期間が約3割

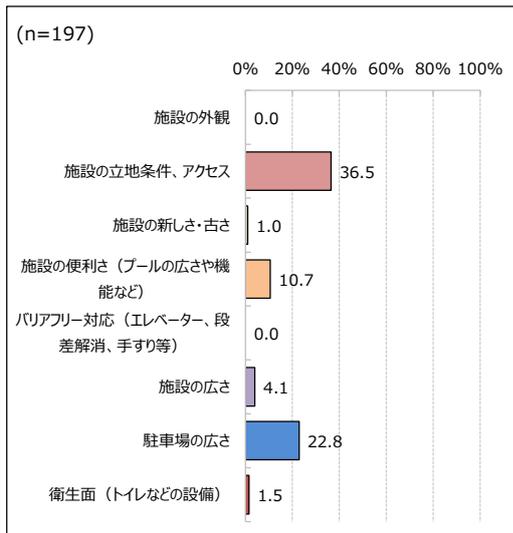


図2-6 旧町営プールの良かった点（建物状況）

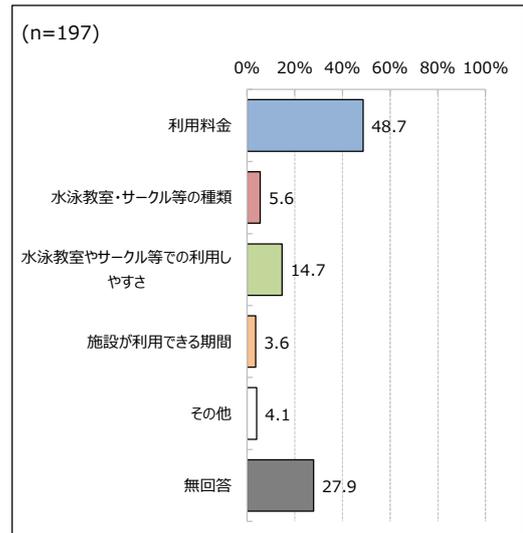


図2-7 旧町営プールの良かった点（サービス）

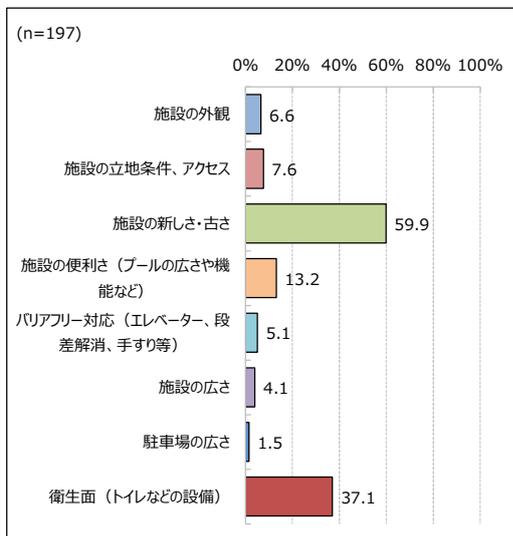


図2-8 旧町営プールの悪かった点（建物状況）

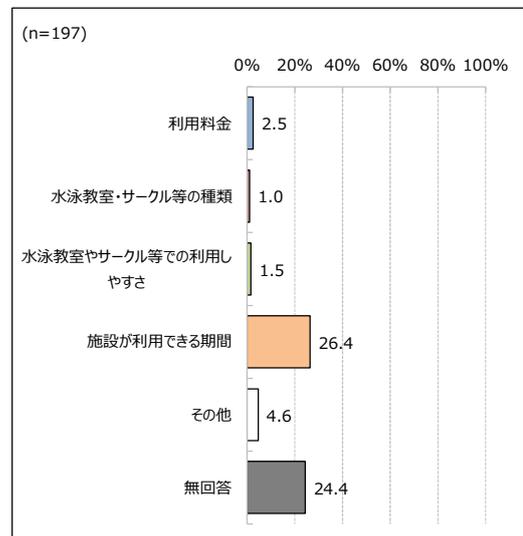


図2-9 旧町営プールの悪かった点（サービス）

表2-8 町営プールに関する意見や要望（自由記述）の概要

視点	特に多く見られた回答
水泳教室	・ 幼児からの水泳教室があればいい。【11件】
設備	・ 施設が古い。 ・ 広い施設が欲しい（プール、観覧席等）。【33件】
	・ 不衛生だと感じる。【15件】
立地	・ 利用しやすい場所に建てて欲しい。【20件】
機能	・ 公認（25m公認）が欲しい。【2件】
	・ 多目的に利用できる施設が欲しい。【18件】
事業スピード	・ 新建替プールをできるだけ早く建設して欲しい。【19件】

## (7) 町民アンケート調査

### ① 調査概要

#### ア 調査目的

旧町営プールの建替に向け、町民の利用実態や建替えに関する考え方を把握し、本構想策定にあたっての基礎資料とするため。

#### イ 調査対象

倶知安町に居住する 1,300 人

(男女比およそ 1 : 1、10~20 代: 約 10%、30~50 代: 約 60%、60 代~: 約 30%)

#### ウ 調査期間

令和 4 年 (2022 年) 5 月 11 日 (水) ~5 月 25 日 (水)

#### エ 調査方法

郵送配布、郵送回収

#### オ 調査内容

・個人属性 ・旧町営プールの利用状況 ・建替に関する考え方

#### カ 回収状況

・調査票回収数 : 389 票

・回収率 : 29.9%

## ②調査結果の概要

旧町営プールに関する主要な調査結果は以下のとおりである。

表2-9 町民アンケート調査結果概要

調査内容	回答の概要
利用頻度	子どもの利用が多く、月や年単位の利用が多い
利用する曜日	回答者、子どもともに週末の利用が約3割以上
利用区分	回答者：個人の利用が約8割、サークル、スイミングクラブの利用が約2割 子ども：個人の利用が約6割、サークル、スイミングクラブ、学校授業が約2割から3割
良かった点	建物状況：立地条件、アクセスが約6割、駐車場の広さが約5割 サービス状況：利用料金が約4割
悪かった点	建物状況：施設の古さ、衛生面が約6割 サービス状況：利用期間が約5割
旧町営プールの改善要素	回答者：施設や設備が新しくなったら、利用したい時間帯や時期に利用できるようになったらが約3~5割 子ども：子ども用のプール設備ができたらが約8割
建替えに関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や身体状況によらず、誰もが使いやすい一般的なプールが約7割、バリアフリーの配慮がされており、高齢者や障がい者などが安心して利用できるプールが約4割</li> <li>・若い世代、高齢世代はバリアフリーに配慮した誰もが利用しやすいプールを望む傾向が強く、中年世代は若い世代がレジャー目的で利用できるプール、または、多用途な公共機能を備えた施設を望む傾向</li> </ul>
建替え後のプールに望む新しい設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水中歩行ができるプールが約5割、プール利用者に限定しないで利用できる浴室やサウナ等の温浴設備、小さな子どもが安全に遊ぶことができる浅いプール、高齢者や障がい者でも利用しやすい、バリアフリーに対応したスロープ付きプールが4割</li> <li>・若い世代は、小さな子どもが利用する浅いプール、温浴施設が多く、年齢が高くなるほど水中歩行できるプールやバリアフリーを考慮したスロープ付きプールを望む傾向</li> </ul>
新しい施設で利用したいと思うサービス等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりのための運動教室が約6割、健康チェック・運動・生活指導などが約3割</li> <li>・若い世代は、小学生のための水泳教室、健康づくりのための運動教室を望む意見が多く、年齢が高くなるほど、健康づくりのための運動教室、健康チェック・運動・生活指導などを望む傾向</li> <li>・利用頻度が高い利用者は、小学生のための水泳教室、スキル別の水泳教室を望む傾向</li> </ul>

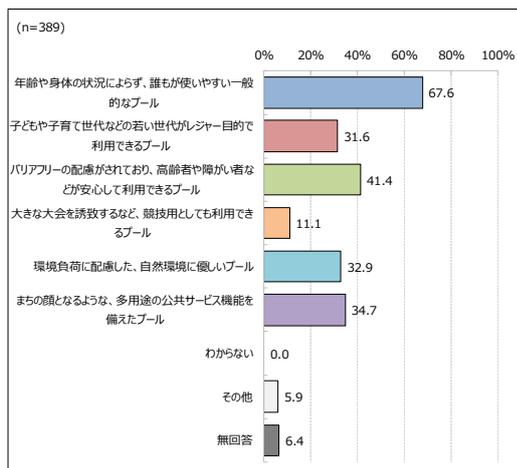


図 2-10 町営プールのあるべき姿

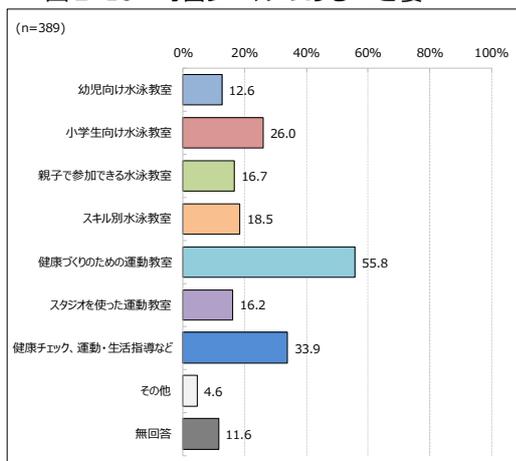


図 2-11 新しい施設で利用したいと思うサービス等

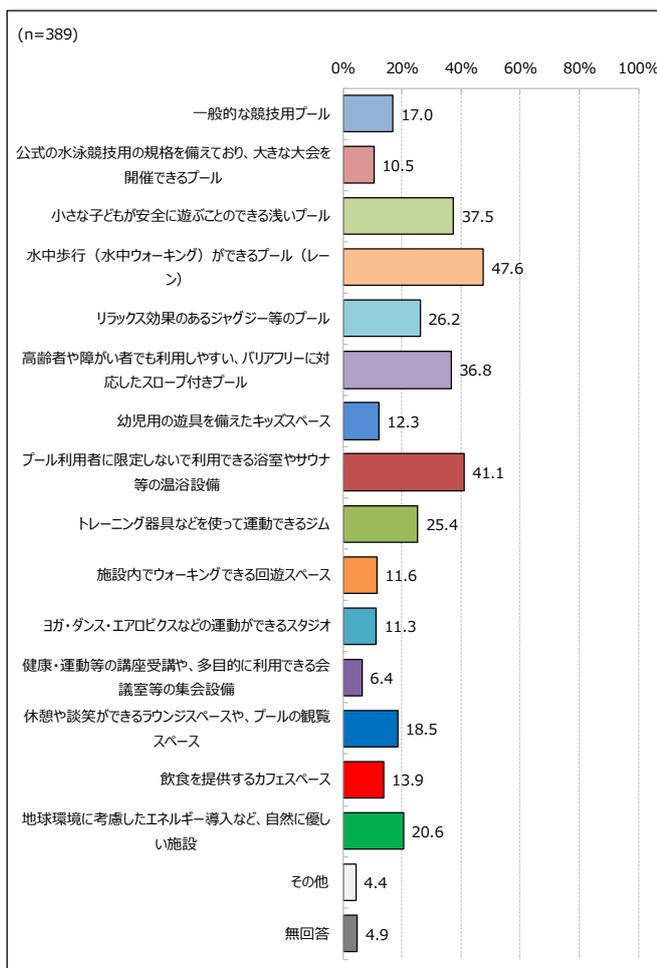


図 2-12 プールに望む新しい設備

表 2-10 町営プールに関する意見や要望（自由記述）の概要

視点	特に多く見られた回答
水泳教室	子ども向けの水泳教室や大人の健康づくり教室を行ってほしい。 【5件】
設備	温浴施設があるといい。 【20件】
	大会が開催できるような競技用のプールがあるといい。 【6件】
	トレーニングやランニング、体操など健康維持の運動ができる設備が欲しい。【8件】
立地	子どもや高齢者でも安心して行き来できる場所に建設して欲しい。 【13件】
営業時間	仕事終わりでも利用できるように、利用時間を長くして欲しい。 【2件】
	年間を通して運動できるような施設にして欲しい。 【4件】
事業スピード	町民の健康維持のためにも、プールの建替えを急いで欲しい。 【10件】

## (8) 団体ヒアリング調査

### ①調査概要

#### ア 調査目的

旧町営プールの利用団体に対して、団体ごとの施設利用状況や施設評価のほか、新町営プールで求められる機能を把握するため。

#### イ 調査対象

7団体

(山田スイミング、ライラックススイミング、倶知安スイミング、北陽小学校、倶知安水泳協会、なみえスイミング、上原スイミング)

#### ウ 調査期間

令和3年(2021年)11月29日(月)

#### エ 調査方法

対面による聞き取り(上原スイミングはメールによる聞き取り)

#### オ 調査内容

旧町営プール、代替えプールの利用状況と施設の評価/新町営プールに望む機能

### ②調査結果の概要

主要な調査結果は以下のとおりである。

- ・いずれの団体も担い手となる指導者の不足が、運営上の共通課題となっている。
- ・建替後のプールに求める条件として、「公認プールであること」が聞かれた。また、通年利用を求める声も複数の団体から聞かれた。
- ・建替後のプールに求める機能について、華美なものへの要求はなく、ユニバーサルデザインに配慮するなど、今の時代に見合うプールであれば良いとの声が大部分であった。一方で、旧町営プールは寒いという意見が多く聞かれており、競技利用も考慮すると、暖気(採暖室)、もしくは、温水で暖まる仕組み(プールと別の温浴槽など)、または、その両方が必要とされている。
- ・現在行われているレッスンの性質上、保護者の出入りが多いことから、観覧席など、保護者の待合スペースに関するニーズが多く聞かれた。
- ・学校授業で使用する際、プールサイドは少し狭い印象のようである(今は1列でしか並ぶことができず、2列で並べると良い)。また、同じ時間に団体利用があるのであれば、今のコース数では不足している。授業回数が限られているため、効果的に授業ができるコース数が欲しく、8コース、もしくは、浅いプールを別に作ってもらえると良いとの意見が挙げられた。
- ・新町営プールの規模については、現在と同じ7レーンは最低限必要であると回答した団体が多く、一部の団体では、8レーンに増設しても良いとの意見があった。
- ・プールと併設する機能について、事業スケジュールや管理の効率性などの観点から、「プールだけの機能で良い」との声が多数であった。
- ・建替後のプールの立地については、旧町営プールが坂の上にあった経緯から、まちなかを希望する声があった。スポーツ施設機能の相乗効果が期待できる体育館との隣接を希望する声もある。

## (9) 施設管理者ヒアリング調査

### ①調査概要

#### ア 調査目的

旧町営プールの管理業務担当者に、運営当時の利用状況や管理上の課題を把握するため、ヒアリング調査を行った。

#### イ 調査対象

協和総合管理株式会社

#### ウ 調査期間

令和4年(2022年)2月14日(月)

#### エ 調査方法

対面による聞き取り

#### オ 調査内容

- ・旧町営プールの管理上の課題や施設の評価
- ・新町営プールに望む機能

### ②調査結果の概要

主要な調査結果は以下のとおりである。

- ・プール槽は子ども向けの浅いレーンは2コース以上の浅いコース、または幼児用プールが必要である。
- ・更衣室やプールサイドの広さは、十分とは言えないが、利用者間で時間帯をずらしてもらうなど、工夫しながら利用していた。
- ・体を洗うことのできるシャワーは、3つ以上必要である。
- ・駐車場はプール以外のイベントが重なると狭く感じる。
- ・旧町営プールには駐輪場が無く、不便である。屋根付きの駐輪場があると良い。
- ・新町営プールについて、広くなると良いが、広いほど清掃が大変になる。
- ・監視室は2階にあると使いにくい。有事の際の即時対応が難しい。
- ・施設を通年利用できると良いが、ランニングコストが高くなる。冬はそこまでの利用者を見込むことが難しい。

### (10) 先進地事例視察より反映を検討すべき事項

先進地事例視察の結果、本構想への反映が望ましいと考えられる事項を以下に整理する。

多世代の利用を可能とするための幼児用プールや歩行者用プールのほか、通年で一定の利用者数を確保するための仕組みについて、先進事例を参考としつつ、新町営プールへの反映を検討することが望ましい。

<参考事例 伊達市 総合体育館・プール「あかつき」>

表 2-11 先進事例より反映を検討すべき施設機能

項目	具体内容など
プール機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児用プール（4.7m×3.2m、水深0.4m）程度</li> <li>・ 歩行者用プール（10m×5.5m、水深1.0m）程度</li> </ul>
その他機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トレーニングルーム（有酸素系、筋力トレーニング系、リラクゼーション系などの運動機器）</li> <li>・ 通年で一定の利用者数を確保するための仕組み ⇒ 民間事業者等による水泳教室、民間事業者等によるトレーニング室の運営・健康指導等の実施など</li> <li>・ 環境配慮のための機能（バイオマスボイラー等）</li> </ul>



図 2-13 施設配置の概要

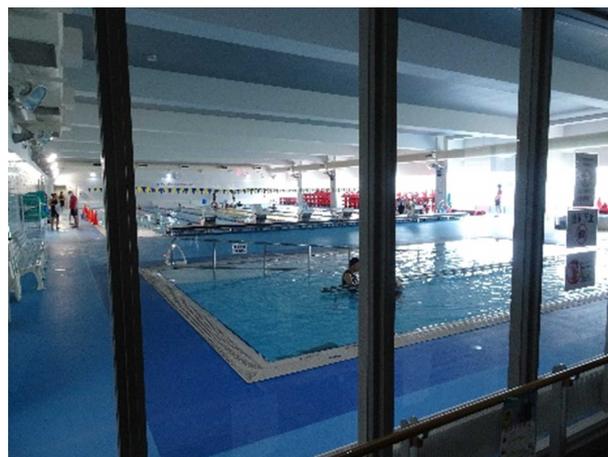


図 2-14 プール室

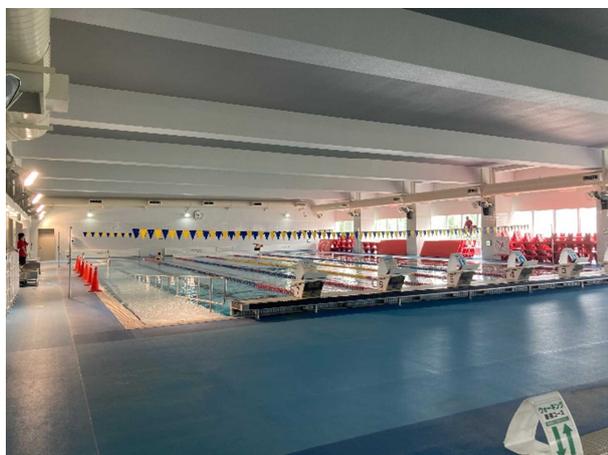


図 2-15 プール室

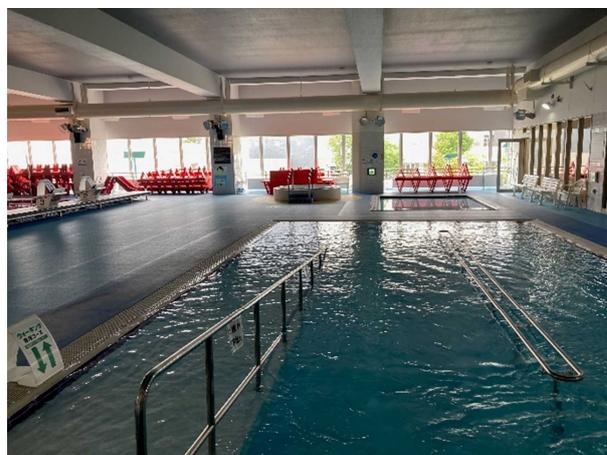


図 2-16 歩行者用プール



図 2-17 子ども用プール



図 2-18 トレーニングルーム



図 2-19 トレーニングルーム



図 2-20 トレーニングルーム



図 2-21 プール教室

## 2 町営プールを取り巻く課題

これまでに整理した現況を踏まえ、新町営プール建設に関する課題を以下のとおり整理した。

### (1) 年齢や身体状況によらずに、誰もが使いやすく、大会利用も視野に入れた施設機能の検討が必要【利用者の視点】

- ・子ども、高齢者、障がい者など、誰もが安心して利用できる施設が必要である。
- ・新町営プールのメインプールは、現状と同等または、同等以上のコース数の設置が求められている。
- ・大会利用のほか、子どもから大人までを対象とする教室・サークルなど、様々な利用用途に応じて柔軟に利用できる施設および運営体制が必要である。
- ・後志管内唯一の公認プールであった旧町営プールの位置づけを考慮して、新町営プールで保有すべき機能を検討する必要がある。

### (2) 上位関連計画における要求事項と整合し、通年利用も視野に入れた効率的な維持管理を行うことのできる施設の検討が必要【運営者の視点】

- ・近年の利用実態や利用者ニーズを考慮しつつ、公共施設等総合管理計画と整合するため、将来の人口規模に見合った施設の在り方を検討する必要がある。
- ・通年利用のニーズが一定程度見られたため、ランニングコスト等も考慮しつつ、運営手法などの対応方針を検討する必要がある。
- ・メンテナンス手間の軽減など、効率的な維持管理を行うことのできる施設を検討する必要がある。

### (3) 早期の供給を目指しつつ、新幹線開通やカーボンニュートラルなど、倶知安町を取り巻く外的要因への対応方策の検討が必要【その他の視点】

- ・旧町営プールは、既に休止状態であるため、可能な限り早期に新町営プールの供用を行う必要がある。
- ・建設敷地について、コンパクトなまちづくりや公共施設の維持管理の効率化、北海道新幹線の開通など、近年の社会情勢に伴う様々な視点を考慮し、適地を検討する必要がある。
- ・国が進めるカーボンニュートラルの取組を視野に入れるなど、新町営プールにおいても環境配慮のための手法を検討する必要がある。

## 第3章 建替に関する基本的な考え方

### 1 基本方針

新町営プールの建替に関する基本的な考え方を、以下のように設定する。

#### **(1) バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、多世代が安心して快適にスポーツや健康増進活動ができる場所の提供**

施設の安全性確保に加え、ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化、適切な温熱環境の確保、環境配慮など、時代の要請に応じた快適な施設環境の確保に努める。

また、高齢者でも利用しやすいスロープ、歩行用プールの対応、学校授業での活用、幼児向けの水泳教室など、多様な利用者ニーズに対応できる施設機能と、運営方式の検討を行う。

#### **(2) 施設のメンテナンスや環境への負荷が少ない施設の整備**

メンテナンスの負荷を低減でき、可能な限り効率的な維持管理を行うことのできる施設配置や規模、機能等の検討を行う。

また、施設のランニングコスト削減のほか、環境配慮の観点などから、一定の省エネルギー性能を確保するための建物仕様のほか、再生可能エネルギーを活用した設備の導入等について検討を行う。

#### **(3) 周辺施設の機能強化に繋がり、倶知安町の魅力を向上できる建設敷地の選定**

トレーニングルームや運動教室など、サークル活動、親子、友人など多様な利用者層が利用でき、町民サービスの品質を向上するための機能について検討を行う。また、公共施設の集約や複合化など、周辺に立地する既存の公共施設との連携を視野に入れた建設敷地の選定を行う。

## 2 新町営プールに求められる機能

前述の町営プールに関する基本方針を踏まえ、新町営プールに求められる機能を以下のとおり整理した。

### (1) プール機能

#### ①メインプール

25m×7レーンを基本としつつ、学校授業のほか、町民ニーズにみられる「運動や健康づくり」、「水泳教室等への参加」、「プールでの遊び」など、多世代が安全にプールを利用できる規模の検討を行う。

また、公認プールの必要性を検討しつつ、各種寸法等の調整を行う。

#### ②付随プール

町民アンケート調査で一定のニーズがみられた幼児用プールや高齢者向けのプール（歩行者用プールなど）の設置について、必要となる規模や配置などの検討を行う。

#### ③その他

プールの利用を快適にするための機能（採暖室、ジャグジー等）

### (2) 公共施設としての機能

#### ①管理機能

事務室、救護室、監視室、物品庫、機械室、電気室、消火ポンプ室、PS等

#### ②共用機能

観覧席、ミーティングルーム、更衣室、シャワー室、WC（男子、女子）、風除室、ホール、廊下等

### (3) その他機能

#### ①町民が利用する機能

総合体育館で手狭となっているトレーニングルームや施設利用者が使用することを主とした入浴スペースのほか、体操などの軽い運動やコミュニティスペースとして使用可能な多目的ルームなど、プール利用者に限定せず、多くの世代の町民が健康づくりや交流のために利用可能な設備のほか、隣接する施設機能を補完する設備についても検討する。

### 3 建設候補地の考え方

新町営プールの建設候補地は、以下の考え方で選定する。

#### (1) 建設候補地の選定基準

- ①既存の町有地のうち、新町営プールの建設が可能で一定程度の規模を有する敷地とする（民地の買収を前提としない）。
- ②施設利用者の利便性が一定程度確保できる立地とする。
- ③周辺施設との連携により、機能強化や公共施設の総面積の削減が期待できる場所とする。

#### (2) 建設候補地の選定結果

第3章3（1）に基づいて選定した敷地候補は、以下の3敷地であり、位置関係は図3-1のとおりである。

- ①世代交流センター敷地
- ②総合体育館隣地
- ③旧町営プール敷地



図3-1 建設候補地の位置関係

### (3) 建設候補地の比較検討

前述した3候補地について、周辺の公共施設の配置状況や都市計画の指定状況のほか、まちづくりの動向を踏まえた位置づけなどを踏まえ、各候補地の特徴と利用にあたっての課題を整理した。

#### ① 世代交流センター敷地

俱知安町公民館西側にあたる、世代交流センター（旧：体育館）敷地を活用する（世代交流センター除却後、跡地利用を想定する）。

##### ア 特徴

- ・文化福祉センター（公民館）に隣接しており、社会教育分野・社会福祉分野との連携の要素が強い。また、保育所や役場本庁舎や俱知安小学校などが周辺に隣接されている。
- ・都市計画マスタープランの「公共・業務ゾーン」に位置しており、上位計画との整合性（コンパクトシティ、公共施設の集約など）が高く、将来的な公共施設集約などの適正配置の観点からも中心的な位置にある。
- ・既存の緑地としての利用に配慮した上で、公民館北側の前庭を活用して駐車場の増設や賑わい創出のスペース確保が可能である。

##### イ 敷地利用に伴う課題

- ・文化福祉センターも老朽化が進んでおり、絵本館・世代交流センターを含めた周辺一帯の在り方も含め検討する必要がある。

#### ② 総合体育館隣地

総合体育館南側の駐車場敷地を活用する想定で、総合体育館に隣接して建設する。

##### ア 特徴

- ・スポーツ分野との連携の要素が強い。
- ・都市計画マスタープランの市街地エリアに含まれるが、縁辺部に位置しており、コンパクトシティの要素は少ない。
- ・公共施設適正配置の要素が強く、スポーツ施設集約の位置づけとして整理可能である。

##### イ 敷地利用に伴う課題

- ・プール建設によって総合体育館の将来的な建替時に敷地が不足する可能性がある。
- ・敷地内で駐車場の増設が困難であり、隣接する新幹線駅駐車場との共用などを想定する必要がある協議に時間を要する。
- ・新幹線開業に伴い、敷地周辺で複数の工事がバッティングするため、詳細な調整が必要になる。特に駅西側の方向性検討が令和4年度（2022年度）中の予定となっており、基本構想業務期間に完了しないため、プール建替の工期に影響する可能性がある。

### ③ 旧町営プール敷地

旧町営プールを解体し、現地に新たなプール施設を建設する。

#### ア 特徴

- ・既存敷地または南側広場を活用する想定であり、広場敷地は不足する駐車場としても利用できる。
- ・隣接する公共施設がなく、他分野との連携の要素はない。
- ・コンパクトシティや、公共施設適正配置の要素は少ない。

#### イ 敷地利用に伴う課題

- ・単純な現地建替であり、他の候補地があがっているなか、採用する場合は一定の根拠設定が必要になる。
- ・周辺地域の高低差によるアクセスの悪さを指摘されている場所であり、多世代で利用する施設の建設を想定した場合に、デメリットを上回るメリットの要素がない。

### (4) 建設候補地の選定

多世代の利用が可能なプール施設を目的とし、前述した3候補地の諸条件等を比較した結果、以下の視点により「世代交流センター敷地」を主たる候補地として検討を進める。

- ・役場庁舎など町の主要な都市機能が集積する地域に位置しており、周辺に位置する公民館（文化福祉センター・デイサービスセンター）、保健福祉会館、保育所、倶知安小学校などとの連携や、子どもから高齢者、サークル活動、親子、子育て世帯など様々な利用者層の利用を期待できる。
- ・旧町営プールが利用できない状況が続いており、早期の事業実施が求められるなか、建設時に制約となる事項が少ないと考えられる。

表 3-1 候補地の状況

	①世代交流センター敷地	②総合体育館隣地	③旧町営プール敷地
用途地域など	・第2種住居地域（建蔽率60%、容積率200%）	・第2種住居地域（建蔽率60%、容積率200%） ・都市計画公園	・白地地域（建蔽率50%、容積率100%） ・都市計画公園
アクセス性	・市街地中心部であり、町内利用者のアクセス性は最も良い ・じゃがりん号など、公共交通でのアクセスも可能	・市街地の縁辺部であり、中心部からは一定の距離があるためアクセス性は中程度 ・今後の新幹線開業により、高架による東西アクセスの改善や、2次交通の充実が期待される ・JR駅や高速道路ICに近く、町外利用者のアクセス性は最も良い	・市街地から一定の距離があり、バスなどの公共交通も少ないことから、アクセス性は悪い ・敷地の高低差があり（旭ヶ丘公園の坂の上部に位置している）、特に高齢利用者などには不便
駐車場の確保	・既存施設と共用可能だが増設が必要	・既存施設と共用可能だが増設が必要になり、既存敷地内では土地確保が困難 ・北側の新幹線駅駐車場との共用の可能性はある ・雪捨て場を確保する必要がある（現在も年数回の排雪が必要）	・既存施設と共用可能だが増設が必要 ・冬期間の駐車場利用は困難（除雪を行っておらず、クロスカントリーコースとしても活用されている）
集約が期待できる機能	・「公共・業務ゾーン」に立地しており、周辺公共施設も含めて社会教育・福祉分野での連携が期待できる。既存絵本館も含め、子育て世代が活用可能な施設として相乗効果が図られる。	・体育館との連携によるスポーツ機能の強化（スポーツの拠点）	・特になし

#### 4 施設規模の想定

第3章に整理した新町営プールの建替に関する基本方針や求められる機能を踏まえ、新町営プールの施設構成と各室ごとの想定面積を表3-2に整理する。

施設機能は中心となる「プールゾーン」のほか、事務所機能を中心とする「管理ゾーン」、機械室等を含む「共用ゾーン」、プール利用者以外も利用が可能な「町民利用ゾーン」による構成とする。

上記の考え方に基づく新町営プールの計画面積（延べ床面積）は、約2,230㎡となることが想定され、旧町営プールのほか、集約対象である俱知安小学校プール、東小学校プール、世代交流センターを合計した延べ床面積と比較すると、6割程度の施設規模となることが予想される。

表3-2 諸室ごとの床面積

区分	室名	町内既存施設				新町営 プール 計画面積	備考	
		旧町営 プール	俱知安小学 校プール	東小学校 プール	世代交流 センター			
管理ゾーン	事務室	20.75	—	—	—	29.14	監視室を兼	
	救護室	事務室に含む	—	—	—	14.81		
	監視室	3.00	—	—	—	—		
	小計	23.75	0.00	0.00	0.00	43.95		
プールゾーン 遊泳用プール プールサイド 周囲関連室	プール室	693.00	606.24	648.00	—	900.14	メインプール：25m 7レーン 幼児用プール：4m×3m程度 歩行者用プール：15m 2レーン	
	ジャグジー	—	—	—	—	7.05		
	採暖室	10.00	—	—	—	7.05		
	男子更衣室	20.78	9.00	47.40	—	16.45		
	男子シャワー室	24.60	—		—	7.43		
	男子WC	シャワー室に含む	9.60		—	22.09		
	男子入場	—	—		—	5.27		
	女子更衣室	20.77	9.00		—	16.45		
	女子シャワー室	24.60	—		—	7.43		
	女子WC	シャワー室に含む	8.40		—	22.09		
	女子入場	—	—		—	5.27		
	倉庫	17.75	5.25		—	—	69.00	
	水飲み場、洗眼	2.00	プール室に含む		—	—	※※洗面所に含む	
小計	813.50	647.49	695.40	0.00	1,085.72			
共用ゾーン	風除室、ホール、廊下	36.75	8.75	—	—	102.13		
	観覧席、階段	9.00	—	—	—	203.98		
	機械室	62.00	14.00	—	—	63.14		
	その他	—	—	—	—	—		
	小計	107.75	22.75	0.00	0.00	369.25		
町民 利用ゾーン	ミーティングルーム	32.00	—	—	—	47.74		
	トレーニングルーム	—	—	—	—	320.00		
	男子浴室	—	—	—	—	50.00		
	女子浴室	—	—	—	—	50.00		
	多目的ルーム	—	—	—	—	(240.00)	世代交流センター機能	
	エレベーター	—	—	—	—	20.00		
	小計	32.00	0.00	0.00	0.00	727.74		
合計		977.00	670.24	826.14	1414.00	2,226.66		

※世代交流センターの集約を想定しない場合、新町営プールの延べ床面積は（240㎡）を除いた約1,990㎡を想定

## 5 整備のイメージ

### (1) 施設機能の構成イメージ（諸室の配置イメージ）

施設機能の構成を、下図に整理する。

監視室を兼ねる事務室は、どの諸室からもアクセスの良い施設の中心に配置する想定とした。

また、観覧席はプール全体の様子を見渡すことを想定して2階に設置した。

さらに、トレーニングルームの2階部分には、ミーティングスペースのほか、運動教室・小規模イベント等に使用できる多目的ルームの配置を予定する。

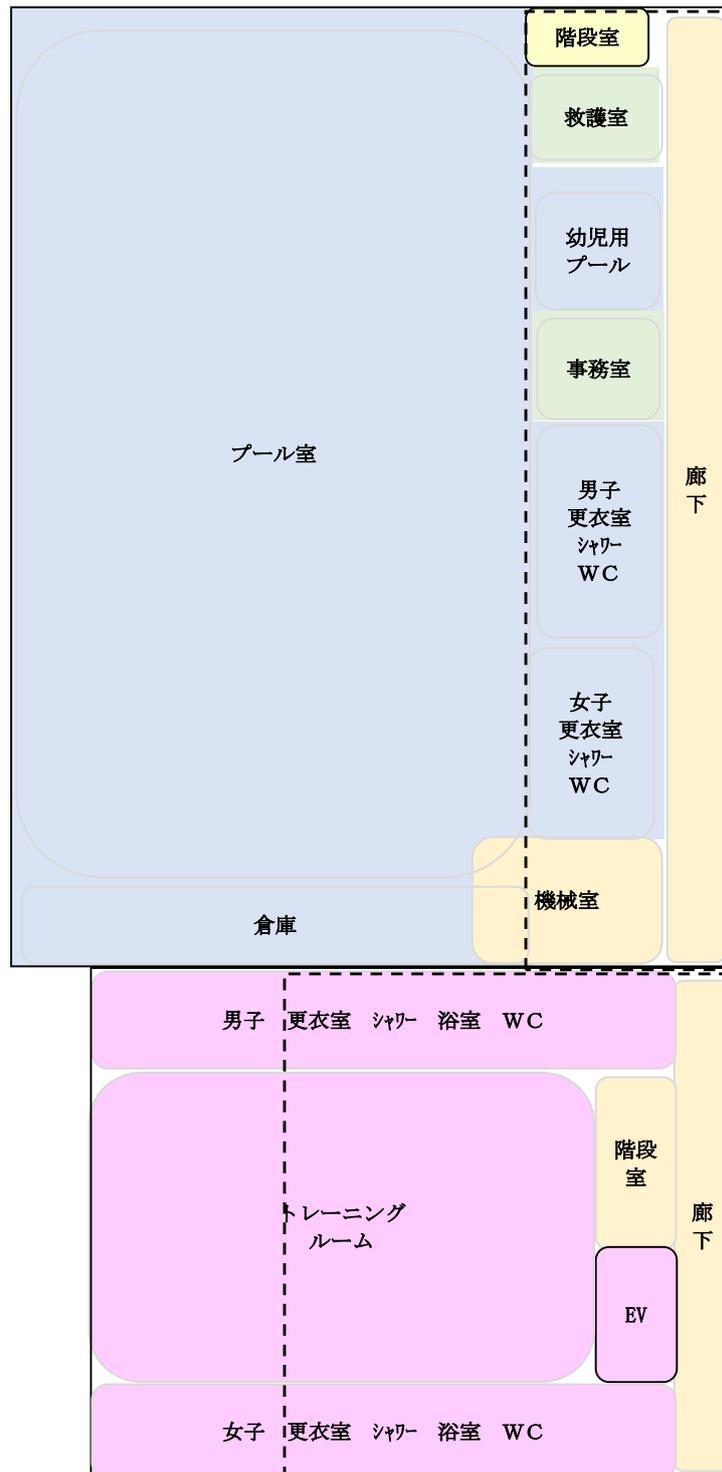


図 3-2 諸室の配置イメージ（1階）

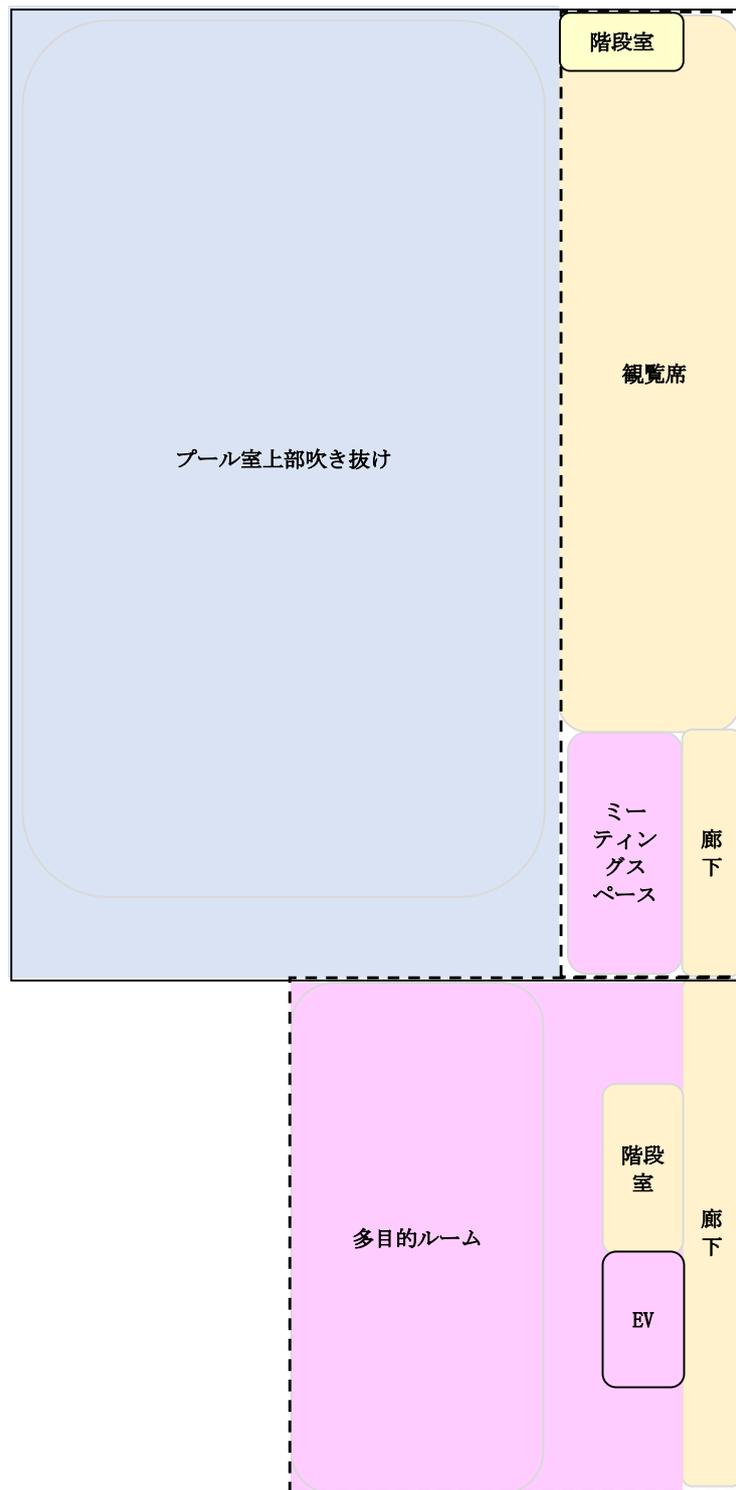


図 3-3 諸室の配置イメージ (2 階)

## 第4章 建替事業の実現化方策

### 1 環境負荷低減のための方策検討

建物の断熱性能向上のほか、昼光利用、自然換気など、省エネルギー性能の向上策について、先進事例などを参考としつつ、継続的に検討を行う。また、建設候補地の地域性に配慮した新エネルギー設備の導入可能性について、検討を行う。

### 2 事業方式の検討

#### (1) 事業方式の比較

町営プールの建替に想定される事業方式について、以下の通り比較を行う。

表 4-1 事業方式の概要

	事業手法	概要
従来方式	直接建設方式	町が資金を調達し、民間事業者に委託して町が設計・施工・管理を行う方式。
	指定管理者制度	町が資金を調達し、民間事業者に委託して町が設計・施工した施設を、民間事業者が管理する方式。
DB方式		町が調達した資金で、民間事業者が一括して設計・施工を行った施設を、町が管理する方式。なお、管理にあたっては、町は、これと別契約・別事業で、維持管理・運営を発注することができる。
DBO方式		町が調達した資金で、民間事業者が一括して設計・施工・管理を行う方式。包括発注により、運営・維持管理を見通した施設設計・建設が図られ、民間事業者のノウハウを生かして効率的な施設性能と良質なサービスを期待できる。
PFI方式	BTO方式	民間事業者が資金調達し、設計・施工後、町が建物を取得し、民間事業者が施設の仕様権を得て管理を行う方式。
	BOT方式	民間事業者が資金調達して設計・施工した施設を、一定の事業期間にわたって管理し、資金回収を行った後、町が建物を取得し、管理する方式。
BLT（リース方式）		民間事業者が資金調達して設計・施工・維持管理する施設を、町が一定期間リース料を支払って借上げる方式。PFI法に基づかないことから、柔軟な手続きが可能な一方で、補助金の活用が難しいなどの側面がある。

表 4-2 事業方式の比較

評価項目		従来方式		DB 方式	DBO 方式	PFI 方式		BLT 方式 (リース方式)
		直接建設	指定 管理者制度			BTO 方式	BOT 方式	
資金調達	建設時	行政	行政	行政	行政	行政と民間	民間	民間
	資金内容	交付金、起債、 一般財源	交付金、起債、 一般財源	交付金、起債、 一般財源	交付金、起債、 一般財源	行政： 交付金、起債 民間：融資等	行政： 交付金、起債 民間：融資等	民間： 融資等
事業実施主体	設計 D 建設 B	民間 (請負契約)	民間 (請負契約)	民間 (請負契約)	民間 (請負契約)	民間 (請負契約)	民間 (請負契約)	民間 (請負契約)
	運営 D 管理 M	行政	民間 (指定管理等)	民間 (指定管理等)	民間 (事業契約)	民間 (事業契約)	民間 (事業契約)	行政
施設の 所有	建設時	行政	行政	行政	行政	民間	民間	民間
	運営時	行政	行政	行政	行政	行政	民間	民間
発注区分	基本設計	分離発注	分離発注	分離発注	包括発注	包括発注	包括発注	包括発注
	実施設計			包括発注				
	施工			分離発注				
	維持管理			指定管理				
	運営							
発注形態	仕様発注			性能発注				

## (2) 事業方式の想定

町営プールの建替には、建設費用のほか維持管理も含めて多額の費用を要することが想定される。よって、倶知安町の財政負担を可能な限り軽減しつつ、効率的で質の高い公共サービスを提供するため、事業化のスピードや建設コストの縮減、効率的な管理・運営などのメリットが期待される「DB方式」、「DBO方式」について、実現性の検証などを進めつつ、今後も継続的に検討を行う。

なお、直接建設などの従来方式を採用する場合も、指定管理者制度の活用など、民間事業者との連携方策について検討を行う。

### 【参考】DB・DBO方式のメリット

- ・ DBO方式とPFI方式は管理運営も含めた包括発注であるため、設計段階からプール運営（サービス提供）や施設の維持管理に適切な施設計画の反映が期待できる。
- ・ DBO方式は設計から管理までを包括発注することにより、従来方式に比べて発注準備期間が削減できるほか、工期短縮への工夫等を設計に反映しやすい。
- ・ DB方式及びDBO方式は、従来方式の「仕様発注＋公共単価」ではなく、「性能発注＋民間単価」であるため、建設コストの縮減効果が期待できる。
- ・ PFI方式も建設コストの縮減効果が期待できるが、民間が資金調達を行うことから、起債より金利が高くなるなどにより、建設や維持管理コストの縮減効果が相殺される可能性がある。

### 3 財源計画

新町営プール建替事業の財源は、主に延床面積の減少を伴う公共施設の集約化・複合化に適用となる「公共施設等適正管理推進事業債」の活用を予定する。この事業債は、充当率が起債対象経費の90%と高く、元利償還金の50%が地方交付税措置される。

起債充当後の残り10%及び起債対象外経費については、自主財源が必要となることから、今後の財政運営に支障をきたさないよう、財政負担の軽減に努める。

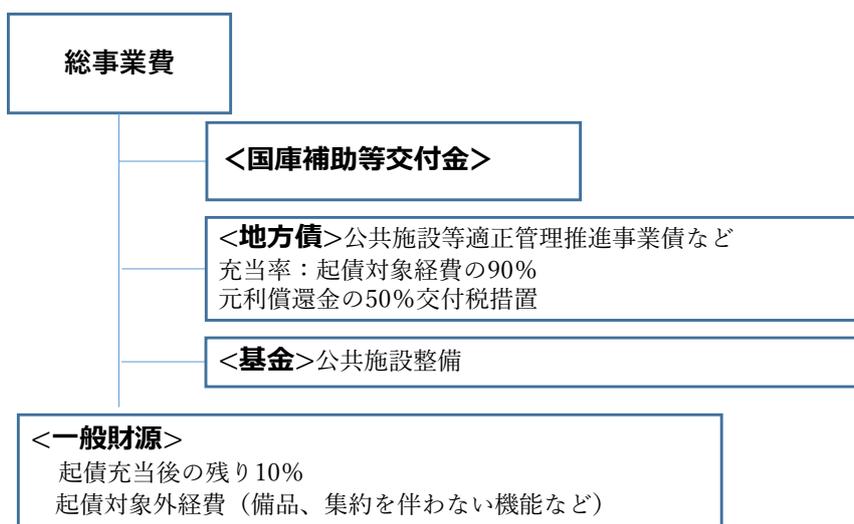


図 4-1 財源計画の概要

### 4 整備スケジュールの想定

新町営プールの建設について、令和4年度（2022年度）～5年度（2023年度）に基本計画を策定し、令和5年度（2023年度）から既存建物の解体事業への着手を予定する。

その後、令和6年度（2024年度）に新町営プールの設計を行い、令和7年度（2025年度）に新町営プールの施工を行った後、令和8年度（2026年度）に集約施設の解体を行う計画とする。

表 4-3 今後の整備スケジュール想定

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
基本構想		基本構想				
基本計画		基本計画				
事業者選定			要求水準書策定	事業者選定		
設計				基本設計・実施設計		
施工					施工	
解体						建設敷地・集約施設の解体

## 第5章 その他参考資料

### 1 検討の経過

本構想の検討は、社会教育課を事務局として、関連する庁内職員による「町営プール検討プロジェクトチーム」（総務課、総合政策課、住民環境課（環境対策室）、まちづくり新幹線課（まちづくり係、建築指導係））を設置して行った。

また、教育委員会の諮問によりスポーツの推進に関する重要事項を調査審議するための機関である、「倶知安町スポーツ推進審議会」（町内会連合会長、体育協会長、スキー連盟会長、社会教育委員長、スポーツ推進委員連絡協議会長、小中学校長会長、学識経験者）による検討も経て、以下の過程で進めた。

表 5-1 検討過程

時期		検討内容など
令和3年度 (2021年度)	8月	●第1回プールPT 【実施日】令和3年8月2日 【内容】経緯報告／基本構想に向けた内容の検討／懸案事項 ／今後のスケジュール
	10月	●令和3年度倶知安町スポーツ推進審議会 【実施日】令和3年10月1日 【内容】旧プールの状況及び、建替に向けた検討について経緯報告
	11月	●第2回プールPT 【実施日】令和3年11月4日 【内容】構想業務の進捗報告／アンケート・ヒアリング 実施手法について
	2月	●第3回プールPT 【実施日】令和4年2月14日 【内容】既存施設の評価と課題点／新プールの基本的方針（案） の検討
令和4年度 (2022年度)	5月	●第4回プールPT 【実施日】令和4年5月31日 【内容】新プールの基本的方針（案）／候補地に関する検討
	7月	●第5回プールPT 【実施日】令和4年7月27日 【内容】構想業務の進捗報告／素案の構成イメージ ／必要機能と建替候補地について
	8月	●令和4年度 第1回倶知安町スポーツ推進審議会 【実施日】令和4年8月23日 【内容】（諮問事項）倶知安町営プール建替に関する基本的な考え方 について
	9月	●第6回プールPT 【実施日】令和4年9月21日 【内容】基本構想最終案について／今後のスケジュールについて
	10月	●令和4年度 第2回倶知安町スポーツ推進審議会 【実施日】令和4年10月25日 【内容】（諮問事項）倶知安町営プール建替基本構想について

## 俱知安町営プール建替基本構想

令和4年（2022年）10月策定

俱知安町教育委員会

メール：[taiikukan@town.kutchan.lg.jp](mailto:taiikukan@town.kutchan.lg.jp)

電話：0136-22-2288（俱知安町総合体育館）